

③礎石

調査区の中央で、長さ 94cm、最大幅 53cm で中央よりややずれた位置には直径約 20 cm、深さ 8 cm の円形の掘り込みがある礎石が出土しました。この礎石は、14 世紀代の遺物が含まれる砂の層から出土していますが、出土状況からここに設置されていたものではありません。また明確な時期は不明です。このような掘り込みを持つ礎石は古代からあり、菅原道真が住んだ「府の南館」いわゆる榎社に隣接することからも興味深いものです。



礎石全景（西から）

④出土遺物

出土した遺物は、土師器や須恵器などの土器、中国で焼かれた白磁碗や青磁碗、瓦、銅銭（皇宗通寶）、石臼など多くの遺物が出土しました。これらは、流されて堆積している遺物で、主な時期は 11 世紀～14 世紀代です。

4. おわりに

今回の調査では、朱雀大路が管理されなくなった後に、川のように度々水が流れていた状況が確認され、多くの土器や白磁・青磁などが出土しました。石列や礎石など不明な部分も多いですが、これらの解明は今後の調査に期待したいと思います。

最後になりましたが、調査にご理解とご協力賜りました、地域の皆様にお礼申し上げます。

《お知らせ》

8 月 9 日より太宰府市文化ふれあい館におきまして、「まるごと太宰府歴史展 2014」を開催しています。太宰府を代表する大宰府政庁や水城跡をはじめ、太宰府の歴史をまるごと紹介していますので、是非ご覧いただき、各時代に花咲いた太宰府の歴史・文化を体感してください。

また、本年は水城築造 1350 年の年です。8 月 30 日（土）午前中には「特別史跡水城跡 100 年ぶりの土塁断面大公開」として現場説明会が開催されます。ふるってご参加ください（JR 水城駅そば）。



水城跡土塁断面公開会場位置図



調査区全景（上が南）



調査地上空より大宰府政庁を望む（上が北）